

第2回 百名山の輪 白山 報告者 下窪義文

○とき 7月11～12日(土日)
○山城 石川県白山市 白山 1786m)
○参加者 CL 下窪義文(つりばし)、
佐藤俊明(雑木の会)
薦田薫(八尾山の会)
柏原(女性ハイキングクラブハイジ)
○集合:7/11(金)21:00JP 大阪タワー前

【コースタイム】

7/12(土)
市ノ瀬ビジターセンター⇒シャトルバス⇒別当出合
出合 6:20～甚之助避難小屋 9:25～南竜山荘
10:45～南竜ケ馬場キャンプ場テント設営
11:37 発⇒エコーラインコース～室堂 13:00～
白山御前峰 14:34～御池巡り～室堂 16:10～
黒ボコ岩 17:03～南竜ケ馬場キャンプ地 18:26
行動 12 時間 距離 14.2km

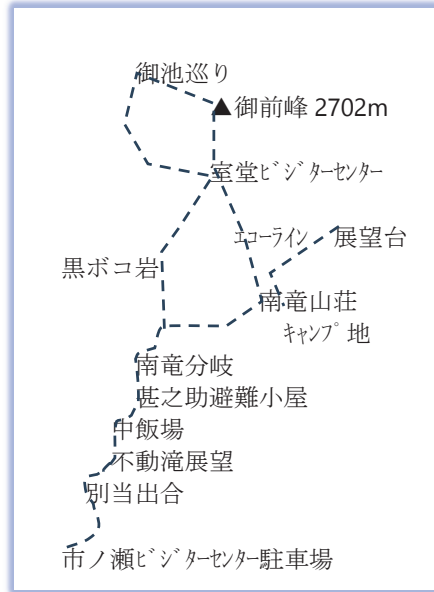
7/13(日)

キャンプ地 3:47～展望歩道展望台 4:40～キャンプ地
5:46 テント撤収 7:23～甚之助避難小屋 8:11～別当
出合登山口 10:26 シャトルバスで市ノ瀬⇒白峰温泉
入浴⇒帰阪 17:40大阪着

【参加者の感想】

○**柏原庸子** (女性ハイキングクラブ ハイジ)
初めて登った白山はお花畑の天国のように美しい山でした。整備された登山道を歩き始めると足元や横の斜面に次から次へと新しい花が現れてくれます。小さく可憐な花や、大きくて気品にあふれた花など本当にたくさんの花たちが出迎えてくれました。私は花の名前をあまり知りませんでした。一緒に登った佐藤さんがとても詳しくご存知で、まるでガイドさんのように説明してくださいました。長い道のりも花に癒やされながらの楽しい時間でした。

もう一つ感激した事は雪の多さでした。テント場の近くも雪渓があり、持ってきた飲物を冷やすのに有効活用する事も、他のクラブの方から教えていただきました。室堂への道ではアイゼンを履きロープで体を繋いで登る場所が



あり緊張しましたが、これも佐藤さんに上手にリードして頂き、安全に登り切ることが出来ました。感謝です。ゴールには「ニッコウキスゲ」の群生があり感激ひとしおでした。室堂でひと休みした後は一気に山頂まで登りました。2702mの御前峰 360°の大パノラマは本当に素晴らしかったです。その後は御池巡りをしながら下山しました。透き通った雪解け水の水面は群青色や翠で、とても美しかったです。場所によっては山と青空を映し出しでいました。お天気に恵まれたからこそ、美しい景色や花々に出会えたのだと感謝しながら下山しました。

夕食はチーズフォンデュが共同食でした。長いフランスパンやウインナーソーセージやチーズ等などたくさんの食材を1人で持ってくれた薦田さんありがとうございます。分担すれば良かったと反省です。下窪さんの竹輪きゅうり詰めも塩味が効いて美味しかったです。話が盛り上がり時間がたつのも忘れてしまいました。お隣テントからの「お静かに」の一言でおひらきになりました。

2日目は3時起床でご来光を見に行きました。運良く綺麗なご来光が拝めました。神々しくて、何かすべてに感謝したい気持ちになりました。

テントに戻り朝ご飯を食べて、テントを片付けました。夜中の雨で濡れていたののでテントの干し方や中の掃除の事なども教わり勉強になりました。

下山は往路と同じ砂防新道でした。道端の花たちがたった1日で色や咲き具合が変わった事に驚いたり、登りでは見えなかった工事現場や重機に納得したりしながら下山しました。

2日間でしたが、すごく盛りだくさんのメニューで、超フルコースの充実した白山の旅でした。色々体験出来て本当に楽しい良い山行でした。

○薦田薫（八尾山の会）

昨年8月頭に、平瀬道をピストンで、初白山登頂、大感動でした。

その時は高山植物が終わりかけのものが多かったので、今回は最盛期で見る事ができ大満足です。

初日、南竜ヶ馬場テント場でテント設営後、室堂への雪渓情報は、トンビ岩コース、エコーラインは危険との事で、てっきり展望台コースで登るのかと思いきや、リーダーは涼しい顔でまさかの「エコーラインで行こか」と。

危ないコースですよん！？

短い距離ではあったけれど、チェーンスパイクを装着、チェストハーネスでリードしてもらって経験をさせて頂きました。その後の雪渓はツボ足でいけました。

後で分かりましたが、翌日の別山ルートを想定しての訓練だったと思われ、ありがたい事でした。そして御前峰へ登頂、大満喫して、さあテント場へと思った矢先、リーダー2度目のまさか、「お池めぐりしよか」と。人も少なめで、何度も

雪渓を歩き、御嶽山のお鉢めぐりを思い出し、神秘的。

山行後振り返ると、このお池めぐりの光景がよく浮かんできます。

ただ疲れのせいか、写真を殆ど撮っていなかった事がとても悔やまれます。

クタクタで砂防新道でテント場へ戻ると、同じくテント泊されていた二十渉の会の方達から差し入れを戴き、こんな事もあるんだなあと、労山山岳会の人々の輪を感じました。

食後、テント内であれこれ雑談していると、21時を過ぎていて隣の方から静かにして下さいと注意を受け、猛反省。

翌日は、アルプス展望台でご来光を見て、その後砂防新道で降りると言うルートに変更となりました。彼方に北アルプスや御嶽山の山並みが見えて、3時起き of 辛さも吹き飛びました。

リーダー3度目の「別山ルートで降りよか」のまさか、が出なくて、心底安堵しました。

別山手前の雪渓が危険な状態で危惧していたのと、超ロングルートなため、足に限界が来てたので、精一杯でした。

組織部兼リーダー下窪さん始め、佐藤さん、柏原さんとは、前回の久住山縦走で一緒させて頂いてたので、ものすごく気が楽でした。

テント泊という特別な経験は私のような初心者には厳しいものです。

色々とは迷惑をおかけしたり、助けて頂くことばかりでしたが、得るものも多く、天気にも恵まれ、何もかもがキラキラの思い出となった白山でした。

○佐藤俊明（雑木の会）

初日：いきなりの登りだが、照り付ける陽を遮ってくれる樹林がこの時期には有難い。やがて、ササユリを皮切りに次から次と数えきれない程の花、はな、ハナ、さすがに花の白山。例年同時期に比べてどうなのかよく分からないが残雪の多さに驚きながら、南竜に BC 設営、残雪状況からエコーコースを選択、ワンポイントを簡易アイゼンで抜け、室堂から御前峰、お池巡りを経て、室堂から降り、コブ岩コースから南竜へ天場では連盟の仲間と小交流会、そして明日は別山からチブリ尾根下降から展望コース折返しとすることに。

2 日目：3：30 ヘッドランプで天場出発、樹林の隙間から御嶽山が見える、やがて視界が明けた展望台地から、雲海に浮かぶ御岳乗鞍、穂高、槍ヶ岳等が、待つほどもなく黒部五郎辺り？から、赤く染まりかけた空をかき分けるようにご来光は 4：50、いつもこの瞬間は感動を覚える。

天場に戻り朝食、撤収の後、砂防新道を降る、僅か 1 日半だったがこの山行も無事終わることが出来た、又、偶然にも、行き帰りに、二十渉、豊中労山の仲間

と巡り会い、白山温泉まで随所で交流、「百名山の輪」の縁と、出会えた人々に感謝の山行だった。

○下窪義文（つりばし）

今回、百名山の輪に参加の皆様お疲れ様でした。全員無事に下山出来たことに感謝いたします。佐藤さんには車の提供から運転までありがとうございます。柏原さん薦田さんには休憩タイムやコースのアドバイスなど助言ありがとうございます。混成チームでも一つの輪になることがPとして大切なことです。苦しい登りも白山のお花達が雪の下からも出迎えて心を癒してくれました。直前の残雪情報が入り軽アイゼンがなかったら予定通りの行動は出来なかったでしょう。改めて情報収集の必要性を感じています。今後とも無理せず安全登山に努めていきたいと思っています。

